



幼児教育の質の向上を目指して ～社会に開かれた園独自の教育課程の実現～

全日本私立幼稚園連合会 会長 香川 敬

全日本私立幼稚園連合会が長い間標榜してきた幼児教育無償化もようやく、しかし大きく、実現に向け動き始めています。ただ、巨額の公金が無償化に投じられることによりその投資効果の検証が求められることは明らかであり、「教育の質の評価」とその「見える化」は避けて通れないと考えます。

本年4月、新しい幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が全面実施となりました。幼稚園教育要領では、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力を一体的に育むよう努めることが示されています。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各園における教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程であり、教育課程や指導計画は、教育・保育を展開するための礎となります。

したがって、幼稚園教育要領等を踏まえ、地域の人的・物的資源の活用など多様な人々とのつながりを保ちつつ「豊かな学び」を展開していき、教育・保育の目指すところを保護者や地域と共有・連携し、協働していきたいものです。ここでの「共有・連携・協働」は、カリキュラム・マネジメントサイクルの過程で重視されるべきキーワードです。

幼稚園と保護者や地域の方々とは互いに“信頼”を育み合い、保護者や地域の方々それぞれの視点か

ら「自分にできないこと、分からないこと」を明確に理解し、「自分にできること」と分けた上で、他の立場の人、他の視点を持つ人とコラボしていく。その取組みの中核に教育課程を位置づけることが、「社会に開かれた教育課程の実現」につながると考えます。

「豊かな学び」の実現を目指し、各々の幼稚園において、「私の幼稚園ならではの」「この幼稚園だけの」教育課程づくりに励んでいただきたいと思います。私共も、キャリアパス等への対応、幼児教育アドバイザーの設置に係る支援等々、幼児教育の質の向上に向けた教育環境の整備に努めてまいります。

全国の私立幼稚園及び幼稚園由来の認定こども園のほぼ全ての園が加盟し、国政において高く評価され、認知されている私たち全日私幼連としても、未来を担う子どもたちを育て、22世紀も輝き続ける日本であるために、幼児教育無償化の実現に伴う課題の解決、幼児教育振興法の早期制定に向けて高い志を持ち、最大限の行動、活動を展開していく所存です。皆様方に改めて、ご支援、ご協力、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(山口県防府市・鞠生幼稚園)